

昭和50年度行事経過（公式行事のみ）

○会長の交代

H E S S 創立以来1年6ヶ月会長の任にあった神田英蔵初代会長が辞任し、赤松秀雄副会長が50年4月1日に第2代会長に就任した。

○第9回定例研究会の開催

前年度に引きつづき、本年度最初の定例研究会を下記の通り開催した。

日時 昭和50年5月31日（土）午前

会場 科学技術館第4会議室

課題 (1) 映画「水素エネルギー」上映

日本科学技術振興財団製作、昭和50年3月完成、カラー30分

(2) 「海外ゼミナール参加報告」

(i) Hydrogen Energy Fundamentals : A Symposium - Course
の概況報告

伊原征治郎（電子技術総合研究所）

(ii) 水素製造セミナーに出席して

土器屋正之（東京工業試験所）

出席者 60名

○国際水素エネルギーシンポジウム「水素エネルギー開発の世界的現況」（主催：国際産業企画協会）に協賛

同シンポジウムの開催に全面的に協賛し、会員多数がこれに参加した。

日時 昭和50年7月24日（木）

会場 ダイヤモンドホール大会議室

課題 「熱化学サイクル法による水素製造の研究の現時点での総括」

James E. Funk (Univ. of Kentucky)

「水素利用デバイスの開発とその問題点」

William J. D. Escher (Escher Technology Associates)

「ユーラトム・パリゼミナールおよび日米ゼミ東京会議の総括と太陽-水素エネルギーシステムの研究の進歩」

太田時男（横浜国立大学）

「金属水素化物に重点をおいたピークル（自動車、航空機、船舶）とエネルギー基地

「用水素貯蔵設備の最近の研究」

Kenneth C. Hoffman

(Brookhaven National Laboratory)

○第10回定例研究会の開催

日時 昭和50年9月25日(木)午後

会場 科学技術館第4会議室

課題 「Cesium Catalyzed Photodecomposition of H₂O by Sunlight
into H₂ and O₂」

L. J. Heidt (MIT)

出席者 50名

○第2回水素エネルギーシステム研究発表会の開催

恒例行事として昨年の第1回開催とほぼ同期日を選んで第2回研究発表会を開催した。

日時 昭和50年11月25日(火)9:30~14:00

会場 機械振興会館地下2階ホール

発表テーマ 「硫化物からの水素製造に関する基礎的研究第3報：低熔融金属によるH₂SからのH₂の回収」

木内弘道、田中時昭(北海道大学)

外13テーマ

特別講演 「水素随想」

崎川範行(日本大学)

参加者 95名

○特別研究会(団体会員向)の開催

本会団体会員のみを対象に、企業内部などで特に関心の高いテーマを選んで講演と討論を行う特別研究会を開催した。

日時 昭和50年12月11日(木)午後

会場 科学技術館第3会議室

課題 「水素エネルギーに関する諸外国の事情」

小寺嘉秀(東京工業試験所)

「国際水素エネルギー諸会議のこの一年の動き」

太田時男(横浜国立大学)

出席者 22名

○第11回定例研究会の開催

日時 昭和51年2月3日(火)午後

会場 科学技術館第4会議室

課題 「水素貯蔵媒体としての金属水素化物」

田村英雄(大阪大学)

「米国ラリーに出場した液体水素自動車」

古浜庄一(武蔵工業大学)

出席者 62名

○第12回定例研究会の開催

日時 昭和51年3月18日(木)午後

会場 私学会館会議室

課題 「金属水素化物について」

J. J. Reilly (Brookhaven National Laboratory)

「第一回世界水素エネルギー会議の報告」

太田時男(横浜国立大学)

出席者 55名

(金澤正綱)